



「第58回 ぼくらのひろば」 表彰式の開催 & 詩集第58号の発行



ターゲット 4. a TEL : 924-2438

2025年1月23日
郡山市教育委員会学校教育部
学校教育推進課
課長 日下 明彦

SDGs ターゲット 4. a 「全ての人々に安全で非暴力的、包摂的、効果的な学習環境を提供する」

郡山市内の小・中・義務教育学校の児童生徒から詩を募集し、優れた作品を表彰するとともに、「詩集 ぼくらのひろば 第58号」を発行します。

本年度は920編の応募があり、その中から特選20編、入選48編、佳作80編の入賞作品が選ばれました。

1 表彰式

- (1) 日時 令和7年2月1日(土) 午前10時30分～午前11時40分
- (2) 会場 郡山市役所本庁舎 2階・正庁
- (3) 出席者
 - ・特選に選ばれた児童生徒(20名)と保護者
 - ・青い窓の会 代表 橋本 陽子 様
 - ・郡山市教育委員会学校教育推進課長
- (4) 内容
 - ・表彰
 - ・講評・講話 審査委員長 青い窓の会代表 橋本 陽子 様
 - ・詩の朗読発表 小学生2名・中学生1名
 - ・記念撮影

2 「詩集 ぼくらのひろば 第58号」の発行

- (1) 掲載作品 入賞した詩148編(特選20編・入選48編・佳作80編)



半分こ
薫小学校 六年 龍崎 大飛

「半分こね」
小さい頃から一つしかないものは
半分にしてきた
ぼくには妹がいるからだ

「順番ね」
半分に出さないものは順番だ
本当は全部がいいのにな

でも半分にして
とをりをみたら妹が笑ってた
ぼくと同じように喜んでた

友達が落ち込んでた時
ぼくも一緒にかなしくなったら
元気になったよって言われた
友達のかなしみ 半分に出来たのかな

半分にしたら
ぼくのまわりには
笑う人がたくさん

妹にもあげてえらいね
一緒にいてくれてありがとう
半分こって
なんか良いな

「詩集 ぼくらのひろば 第58号」より

- (2) その他
- ・詩集は市内の公民館や図書館でご覧いただけます。
 - ・「広報こおりやま」に、詩集に掲載された作品の中から、毎号1編ずつ掲載されます。

■ ■ ぼくらのひろば ■ ■

1967（昭和42）年から毎年作品募集、詩集を発行しています。

■ ねらいは

- ・ 児童生徒が継続的な詩の創作に取り組む機会を提供し、作品作りを通して感性を高め、豊かな心情を養う。
- ・ 優秀作品を選び、詩集「ぼくらのひろば」に収め、児童生徒が作品を通して年齢や地域を越えて交流する。

■ 経緯について

- ・ 1967（昭和42）年、郡山児童文化協会（当時）と「ボクラのひろば」運営実行委員会の協力により、子供たちの自由な表現の場として始められました。詩の選考には、当時、児童詩活動をしていた佐藤 浩氏（青い窓主宰）が携わりました。
- ・ 2001（平成13）年には、郡山市教育委員会の運営となり、『青い窓』の代表 橋本陽子 氏の協力により現在まで継続されています。
- ・ 1975（昭和50）年6月号より「広報こおりやま」毎号に代表の詩が掲載されています。

■ 『青い窓』について

- ・ 1960（昭和35）年5月、詩人 佐藤 浩 氏により創始。現在の代表は橋本 陽子 氏
- ・ 詩誌『青い窓』は今年で創刊60年の節目を迎え600号を数えます。
- ・ 子供達の詩は太陽の匂いがします。その子供達に呼びかけて来た言葉は『よく見つめ、よく考え、ていねいに生きましょう』。そして、大人の社会に向かっては、『心も含めて、子供の実像を見て下さい』と言い続けて参りました。
- ・ 「青い窓から世界の窓へ。世界は空でつながっている。ふくしまから子どもたちの声を世界に届けよう」をコンセプトに、子どもたちの詩を世界に広める活動もしています。

（青い窓ホームページから一部抜粋）



青い窓ホームページ